

□主な内容

【第 15 回 EST 交通環境大賞 受賞団体を公表しました】

EST 普及推進委員会は、「第 15 回 EST 交通環境大賞」の受賞者を決定しました。7 月 18 日に開催する「第 15 回 EST 普及推進フォーラム」において受賞団体を表彰します。

https://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2024_02.html

【第15回EST普及推進フォーラムを開催します！】

EST 普及推進委員会は、7 月 18 日に、EST の取組について講演やパネルディスカッション等で検討する「第 15 回 EST 普及推進フォーラム」を開催します。また、本フォーラムの中で「第 15 回 EST 交通環境大賞」の表彰を行います。受賞講演により優良事例を共有した後、基調講演にて脱炭素化実現のための公共交通電動化の進め方について学び、パネルディスカッションにて「交通分野における環境負荷低減の重要性」について検討します。

<https://www.estfukyu.jp/forum17.html>

□目次

1. ニュース／トピックス

- 令和7年度グリーンスローモビリティ導入促進事業の公募について【環境省】
- 「都市空間における自動運転技術の活用に向けたポイント集」の公表 ～まちづくりへの新たなヒント～【国土交通省】
- 「自動運転ワーキンググループ中間とりまとめ」の公表について ～自動運転タクシー等の社会実装に向けた今後の取組等～【国土交通省】
- 令和6年度海運モーダルシフト大賞を選定！ ～海上輸送へのモーダルシフトにおける革新的な取組に対して授与～【国土交通省、日本長距離フェリー協会、日本内航海運組合総連合会】
- 令和7年度「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の二次募集開始【国土交通省】
- 「地域連携モーダルシフト等促進事業」(補助事業)の二次公募開始 ～地域連携したモーダルシフトや共同輸配送等の先進的取組を支援します～【国土交通省】
- 持続可能な物流体系の構築にむけて ～「多様な輸送モードのさらなる活用に向けた実証等事業」の募集開始～【国土交通省】
- 低炭素型ディーゼルトラックの導入を支援！ ～令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業)の公募を開始～【国土交通省、環境省】

- 船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向と「内航海運へのモーダルシフト利用検討ガイド」及び「航路情報一覧」の公表～【国土交通省】
- ハイブリッド連節バス導入支援事業の公募について【環境省、北海道環境財団】
- 「地域公共交通利便増進事業」の実施計画を認定 ～利便性・持続可能性の高い地域公共交通を目指して～【東北運輸局】
- 日本版ライドシェアの運行開始に伴う出発式を開催【小田原市】
- 高齢者移動支援実証実験 出発式を実施【芳賀町、芳賀町社会福祉協議会、オートテックジャパン、】
- 都営バスでEVバスの運行を開始します【東京都】
- 鉄道・バス会社による日本版ライドシェア トライアル運行開始【伊予鉄道、伊予鉄バス、伊予鉄タクシー】
- 「メトポ」と「ToKoPo」による「エコボーナス W(ダブル)キャンペーン」を実施します！【東京メトロ、東京都】
- 沖縄本島において「バス会社による日本版ライドシェア」のトライアル運行を行います【東京バス】
- 愛知県が実施する「高速バスの自動運転実証」への参画について【名鉄バス、名鉄グループバスHD、先進モビリティ、みずほ R&T】
- 関東鉄道に大型EVバス「K82.0」4両を納入。6月9日より茨城エリアで運行開始【ビーワイディージャパン、関東鉄道】
- 水素エンジンコンバージョンバスの実証試験と事業化に向けた調査が NEDO 公募事業に採択【日清オイリオグループ、リケン NPR、東京都市大学】
- 深夜の移動課題に“シェア乗り”で挑む『ミッドナイトシャトル三鷹』が 6 月 6 日始動【NearMe、JR 東日本スタートアップ】
- 降車後の「徒歩」も支える移動サービスが同時導入【つばめ交通、広島レンタカー、WHILL】
- 新幹線荷物輸送による緊急輸送サービスを開始します！ ～「当日受付・即日配送」を実現新サービス名称も誕生～【JR 西日本、JT 西日本マルニックス】
- 自動運転トラックで国内最長となる神奈川ー神戸の約 500 キロ走破に初成功【T2】
- イタリア・ローマで新たに 250 台の EV バスを導入【E-GAP、ローマ】
- 中国・遼寧省、瀋陽～大連高速道路を走行する水素トラックの通行料を無料化【遼寧省】

2. イベント情報

- 第 15 回 EST 普及推進フォーラム【2025/7/18】
- きょうとエコサマー【2025/7/19-8/25】
- 第 1 回小中高等学校におけるモビリティ・マネジメント教育情報交換会【2025/8/9】
- 大和鉄道まつり 2025【2025/8/9】

- 鉄道フェスティバル in 東北【2025/10/5】
- 地域脱炭素マッチングイベント【2025/10/24】

3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

1. ニュース／トピックス

●令和7年度グリーンスローモビリティ導入促進事業の公募について【環境省】

環境省は、令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業）のうち、グリーンスローモビリティ導入促進事業の公募を開始しました。公募期間は7月22日までです。

令和7年度グリーンスローモビリティ導入促進事業では、地域課題の解決と交通の脱炭素化の同時実現を目指したグリーンスローモビリティの導入に係る車両等の導入支援を行います。

https://www.env.go.jp/press/press_05051.html

●「都市空間における自動運転技術の活用に向けたポイント集」の公表 ～まちづくりへの新たなヒント～【国土交通省】

国土交通省は、「都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会」での議論を踏まえ、まちづくりと連携して自動運転技術をどのように活用していくか、そのための目指すべき政策の方向性や取組むべき施策に関する考え方を、自動運転の実証実験等に取り組む自治体関係者等のためのポイント集としてとりまとめました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi09_hh_000121.html

●「自動運転ワーキンググループ中間とりまとめ」の公表について ～自動運転タクシー等の社会実装に向けた今後の取組み等～【国土交通省】

国土交通省は、より迅速かつ円滑な自動運転の社会実装が可能となるよう、交通政策審議会の下に設置している「自動運転ワーキンググループ」について、計6回の議論を踏まえた中間とりまとめを公表しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha01_hh_000107.html

●令和6年度海運モーダルシフト大賞を選定！ ～海上輸送へのモーダルシフトにおける革新的な取組みに対して授与～【国土交通省、日本長距離フェリー協会、日本内航海運組合総連合会】

国土交通省、（一社）日本長距離フェリー協会、日本内航海運組合総連合会、学識経験者等で構成されるエコシップ・モーダルシフト事業選定委員会は、CO₂削減の取組みに加え、物流業界における2024年問題への対応など、海上輸送へのモーダルシフトが果たす社会的役割は年々大きくなっていることを踏まえ、海上輸送へのモーダルシフトに特に貢献したと認められる荷主・物流事業者（優良事業者）及び、「優良事業者」のうち革新的な取組み等により貢献度が高かったと認められる荷主・物流事業者を選定し、海事局長より、前者には「優良事業者表彰」を、後者には「海運モーダルシフト大賞」を授与しています。

2024 度は、22 件 42 社に対して優良事業者表彰を、そのうち 2 件 3 社に対して海運モーダルシフト大賞を授与します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji10_hh_000159.html

●令和7年度「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の二次募集開始【国土交通省】

国土交通省は、温室効果ガスの排出削減、流通業務の省力化による持続可能な物流体系の構築を図るため、「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の二次募集を開始しました。公募期間は、7 月 31 日までです。

対象事業は、①物流効率化法に基づく総合効率化計画策定のための調査事業、②物流効率化法の総合効率化計画に基づき実施する事業であり、2025 年度事業では貨客混載をはじめとするラストワンマイルの配送効率化について過疎地域以外の取組みも補助対象に追加されています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000906.html

●「地域連携モーダルシフト等促進事業」(補助事業)の二次公募開始 ～地域連携したモーダルシフトや共同輸配送等の先進的取組みを支援します～【国土交通省】

国土交通省は、モーダルシフトや共同輸配送等の強力な推進を図る「地域連携モーダルシフト等促進事業」の二次公募を開始しました。公募期間は、7 月 25 日までです。

本事業では、地域の産業振興等を担う地方公共団体や産業団体・経済団体、荷主、物流事業者等によって構成される協議会等が、地域の産業振興等と連携した先進的な取組みを行う際の検討に必要な調査・分析に係る費用や物流の効率化と持続的成長に向けてモーダルシフト等を強力に促進するための物流拠点の整備や設備・機器の導入、実証運行等に要する経費に補助金を交付します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000900.html

●持続可能な物流体系の構築にむけて ～「多様な輸送モードのさらなる活用に向けた実証等事業」の募集開始～【国土交通省】

国土交通省は、航空機の空きスペース等の活用や内航海運の新規需要創出を推進し、環境負荷の低減、トラックドライバーの輸送力不足および災害時の安定的な物流網の確保を通じた、持続可能な物流体系の構築を図ることを目的とした事業の公募を開始しました。公募期間は 7 月 4 日までです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000891.html

●低炭素型ディーゼルトラックの導入を支援！ ～令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業）の公募を開始～【国土交通省、環境省】

国土交通省は、トラック輸送における CO₂ 排出削減を図るため、投資余力の少ない中小トラック運送業者を対象に、低炭素型ディーゼルトラックの導入を支援する補助事業（環境省連携事業）の公募を開始しました。申請受付期間は、2026 年 1 月 30 日までです。

本事業では、中小トラック運送業者における保有車両の燃費性能を高めるとともに、燃費改善に継続的に取り組む事業者の体制整備を促進し、トラック輸送の低炭素化を目指すため、低炭素型ディーゼルトラックを導入する事業について、車両導入経費の一部を補助します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000330.html

●船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RORO 船及び内航コンテナ船に係る積載率動向と「内航海運へのモーダルシフト利用検討ガイド」及び「航路情報一覧」の公表～【国土交通省】

国土交通省海事局は、中・長距離フェリー、RORO 船及び内航コンテナ船に係る積載率の動向（2025 年 1～3 月実績）を調査し、その結果を公表しました。

合わせて、2024 年度実施した「モーダルシフトに関する内航海運の新規需要調査」の結果に基づき、「内航海運へのモーダルシフト利用検討ガイド」及び「航路情報一覧」を作成し、公表しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji10_hh_000158.html

●ハイブリッド連節バス導入支援事業の公募について【環境省、北海道環境財団】

（公財）北海道環境財団は、環境省から令和 7 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業（ハイブリッド及び天然ガストラック・バス導入支援事業））の交付決定を受け、公募を開始しました。公募期間は 7 月 11 日までです。

本補助金は、二酸化炭素の排出削減を図るため、バス所有事業者が二酸化炭素排出削減効果を有する連節バス（ハイブリッド自動車）を導入する事業に要する経費を補助するものです。

<https://www.heco-hojo.jp/yR07/renbus/competition.html>

●第 15 回 EST 交通環境大賞 受賞団体を公表しました【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会は、「第 15 回 EST 交通環境大賞」の受賞者を決定しました。7 月 18 日に開催する「第 15 回 EST 普及推進フォーラム」において受賞団体を表彰します。

https://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2024_02.html

●「地域公共交通利便増進事業」の実施計画を認定 ～利便性・持続可能性の高い地域公共交通を目指して～【東北運輸局】

東北運輸局は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、新たに福島県に関する 2 件の「地域公共交通利便増進実施計画」を認定しました。新規認定されたのは、福島県県北圏域と福島県県中・県南圏域です。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000352261.pdf>

●日本版ライドシェアの運行開始に伴う出発式を開催【小田原市】

小田原市は、小田原交通圏の日本版ライドシェアの運行を開始しました。神奈川県内では京浜交通圏、県央交通圏、湘南交通圏で既に日本版ライドシェアの運行が始まっており、この小田原交通圏での運行開始により、首都圏・東日本で初となる「県内全域での日本版ライドシェアの運行」が実現しました。

https://www.city.odawara.kanagawa.jp/press/detail.php?prs_id=13302

●高齢者移動支援実証実験 出発式を実施【芳賀町、芳賀町社会福祉協議会、オートテックジャパン、】

芳賀町、芳賀町社会福祉協議会、株式会社オートテックジャパンは、芳賀町の高齢者を対象とした実証実験の出発式を行いました。

実証実験では、高齢者に検証や操作の説明をした後に、実際に電動モビリティを運転して役所での手続きや買い物をしてもらい、滞在時間や移動を遠隔で確認しました。

<https://www.autotechnic.co.jp/info/%e3%83%97%e3%83%ac%e3%82%b9%e3%83%aa%e3%83%aa%e3%83%bc%e3%82%b9/departureceremony-2.html>

●都営バスで EV バスの運行を開始します【東京都】

東京都は、北自動車営業所において EV バス 2 両を導入し、営業路線で運行を開始しました。

本取り組みは、東京電力 HD 株式会社と締結した「EV バス導入に向けたモデル構築に係る連携協定」に基づき、EV バスの車両性能や効率的な充電方法等を検証し、大都市における EV バス導入モデルの構築を進めていくものです。

https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup_information/news/bus/2025/bus_p_2025060912075_h.html

●愛知県が実施する「高速バスの自動運転実証」への参画について【愛知県、名鉄バス、名鉄グループバス HD、先進モビリティ、みずほ R&T】

名鉄バス株式会社、名鉄グループバス HD 株式会社、先進モビリティ株式会社、みずほサーチ＆テクノロジーズ株式会社は、愛知県が実施する「高速バスの自動運転実証」に参画します。

愛知県では、全国に先駆けて 2016 年度から自動運転の実証実験を積み重ね、自動運転技術の向上とともに、ビジネスモデルの構築や社会的受容性の醸成を図っており、2025 年度は新たな取組みとして全国初の自動運転高速バスを目指す実証実験を行います。

<https://www.meitetsu-bus.co.jp/image/upload/269fff750687e835c950020f5f386fbd.pdf>

●鉄道・バス会社による日本版ライドシェア トライアル運行開始【伊予鉄道、伊予鉄バス、伊予鉄タクシー】

伊予鉄道株式会社、伊予鉄バス株式会社は、伊予鉄タクシー株式会社とパートナーシップを組み、全国初の鉄道事業者が参画した日本版ライドシェアのトライアル運行を開始しました。

https://www.iyotetsu.co.jp/topics/press/2025/0613_grbt.pdf

●「メトポ」と「ToKoPo」による「エコボーナス W(ダブル)キャンペーン」を実施します！【東京メトロ、東京都】

東京地下鉄株式会社と東京都交通局は、東京の地下鉄サービス一体化の取組みの一環として、6 月の環境月間にあわせて東京メトロ・東京都交通局の会員制ポイントサービス「メトロポイントクラブ」と「ToKoPo」を活用した「エコボーナス W キャンペーン」を実施しています。

2025 年 6 月の土曜・日曜及び環境の日である 6 月 5 日(木)に東京メトロ及び都営交通を利用すると、通常よりポイント等を増量して進呈する、オトクでエコに東京を楽しめるキャンペーンです。

<https://www.tokyometro.jp/news/2025/220831.html>

●沖縄本島において「バス会社による日本版ライドシェア」のトライアル運行を行います【東京バス】

東京バス株式会社は、国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会において承認された「バス会社による日本版ライドシェア」として、沖縄本島において 6 月 1 日よりトライアル運行を開始しました。

<https://www.tokyobus.jp/okinawa/news/news-760/>

●関東鉄道に大型 EV バス「K82.0」4 両を納入。6 月 9 日より茨城エリアで運行開始【ビーワイディージャパン、関東鉄道】

ビーワイディージャパン株式会社は、関東鉄道株式会社に、BYD の大型 EV バス「K82.0」を 4 両納入し、水戸、土浦、つくば中央、守谷の各営業所管内で運行を開始しました。

https://byd.co.jp/news/2025_0617_262.html

●水素エンジンコンバージョンバスの実証試験と事業化に向けた調査が NEDO 公募事業に採択【日清オイリオグループ、リケン NPR、東京都市大学、】

日清オイリオグループ株式会社、リケン NPR 株式会社、東京都市大学と共同で行う「既販重量車の水素コンバージョン事業の実現性調査」が、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構が公募する「2025 年度水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発／水素製造・利活用ポテンシャル調査」に採択されました。

https://www.nisshin-oillio.com/company/news/down2.php?attach_id=1862&uid=9402

●深夜の移動課題に“シェア乗り”で挑む『ミッドナイトシャトル三鷹』が 6 月 6 日始動【NearMe、JR 東日本スタートアップ】

株式会社 NearMe、JR 東日本スタートアップ株式会社は、終電以降の空白時間を埋める移動手段として三鷹駅発の移動サービス『ミッドナイトシャトル三鷹』の実証実験を開始しました。

本実証では、深夜帯における新たな移動手段として、シェア乗り形式のタクシーサービス『ミッドナイトシャトル三鷹』を三鷹駅南口から西・南方向エリアに向けて運行します。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000187.000031733.html>

●降車後の「徒歩」も支える移動サービスが同時導入【つばめ交通、広島レンタカー、WHILL】

つばめ交通株式会社と広島レンタカー株式会社は、業界の横断連携を通じて観光や日常における二次交通課題の網羅的な解決を目指し、WHILL 株式会社が開発する、免許不要で歩行領域を走行する近距離モビリティ WHILL を活用した移動サービスを提供開始しました。

<https://whill.inc/jp/news/156103>

●新幹線荷物輸送による緊急輸送サービスを開始します！～「当日受付・即日配送」を実現新サービス名称も誕生～【JR 西日本、JR 西日本マルニックス】

西日本旅客鉄道株式会社と株式会社ジェイアール西日本マルニックスは、新たに法人利用者を対象に「当日受付・即日配送」を可能とする緊急輸送サービスの実証実験を、新大阪・広島・博多の相互駅間において開始します。荷物輸送サービスの名称は「荷もっシュッ！」・「荷もっシュッ！ Quick」となります。

https://www.westjr.co.jp/press/article/items/250613_00_press_Shinkansennimotuyusou_kinkyuyusoservice_1.pdf

●自動運転トラックで国内最長となる神奈川ー神戸の約 500 キロ走破に初成功【T2】

株式会社 T2 は、綾瀬市から神戸市までの高速道路区間を、自動運転トラックで走破する実証に初めて成功しました。距離は約 500 キロに達し、レベル 2 自動運転トラックとして日本国内で最長となります。

<https://t2.auto/news/2025/0613.pdf>

●イタリア・ローマで新たに 250 台の EV バスを導入【E-GAP、ローマ】

ローマは、東部および西部地区で 250 台の新しい EV バスを運行する準備を進めています。この取組みは、欧州の電動モビリティプラットフォーム「E-GAP」が主導する、都市バスの電動化プロジェクトの一つです。このプロジェクトで採用している「Fleet-as-a-Service（車両サービス一括提供）」モデルでは、公共交通事業者が、車両の提供、保守、充電インフラなどの車両管理を、統合された単一のサービスとして外部委託できるようになっています。

<https://www.e-gap.com/wp-content/uploads/2025/05/Comunicato-Stampa-Trasporto-pubblico-E-GAP.pdf>

●中国・遼寧省、瀋陽～大連高速道路を走行する水素トラックの通行料を無料化【遼寧省】

遼寧省交通運輸庁と発展改革委員会は、「遼寧省高速道路の差別化料金および水素トラック通行料金無料化の実施プラン」を施行しました。これにより、水素燃料電池を搭載するトラックが「瀋陽～大連高速道路（区間距離約 360 キロメートル）」を走行する際には通行料金を免除されます。

<https://jtt.ln.gov.cn/jtt/zfxxgk/fdzdgknr/sfxm/2025052608511383198/index.shtml>

2. イベント情報

●第 15 回 EST 普及推進フォーラム

日時:2025 年 7 月 18 日(金)13:30~16:45(受付開始 13:00)

場所:全電通労働会館ホール

主催:EST 普及推進委員会、(公財)エコモ財団

<https://www.estfukyu.jp/forum17.html>

●きょうとエコサマー

日時:2025 年 7 月 19 日(土)~令和 7 年 8 月 25(月)

場所:対象路線バスと京都丹後鉄道

主催:京都市

<https://www.pref.kyoto.jp/tdm/news/kyotoecosummer2025.html>

●第 1 回小中高等学校におけるモビリティ・マネジメント教育情報交換会

日時:2025 年 8 月 9 日(土)13:15~17:15(受付開始 12:45)

場所:日本教育会館会議室 707 号室

主催:(公財)エコモ財団

<https://peatix.com/event/4399882/view?k=e34c8dfab3653dcc3da74ac219df678ddc1e333f>

●大和鉄道まつり 2025

日時:2025 年 8 月 9 日(土)、10 日(日)10:00~16:00(最終入場 15:30)

場所:奈良県コンベンションセンター

主催:全国鉄道まつり実行委員会

<https://yamato-train-fes.net/>

●鉄道フェスティバル in 東北

日時:2025 年 10 月 5 日(日)10:00~15:00

場所:JR 貨物・仙台貨物ターミナル駅(旧宮城野駅)構内

主催:東北運輸局鉄道部

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/content/000350871.pdf>

●地域脱炭素マッチングイベント

日時:2025 年 10 月 24 日(金)10:00~17:00

場所:ベルサール東京日本橋

主催:環境省

https://www.env.go.jp/press/press_05008.html

3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp(担当: 岡本)

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>